

授業科目 情報処理 I		科目コード番号		
【担当教員名】 山崎一生 萩原威志 ○寺島和浩	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・栄養・社会
	開講時期	前期	必修・選択	必修・必修・必修・必修・必修
	単位数	1	時間数	30
【概要】 情報処理 I, II では、パーソナルコンピュータ（以下 PC）の基本的な操作方法、ネットワークの知識・利用技術、そして情報社会の倫理としての情報利用者のモラルも含めた総合的な情報リテラシー教育を目的としている。 この情報処理 I では、オペレーションシステムの基本操作に習熟し、ワードプロセッサ、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトなどの応用ソフトの基本的な操作方法の習得を目標とする。				

【使用図書】				
教科書・参考書等	書名等	著者名	発行所	発行年・価格・その他
教科書（理学・作業・言語・栄養）	医科系情報リテラシー	樺澤一之ほか	共立出版	2000年・2800円
教科書（社会）	初心者のためのコンピュータリテラシー	毒島雄二ほか	共立出版	2000年・2300円
その他配布資料	プリント			
【評価方法】 授業の出席状況と提出されたレポート、簡単な試験などにより総合的に評価。				
【履修上の留意点】 2年以降も授業、実習、研究、各種事務手続きなどにおいて、各自必携するノート型 PC を利用するので、1年のうちに基本的操作に習熟することが望ましい。この授業では、技能検定（日本ソフトウェア教育協会）3級程度を目標とする。1年後期の情報処理 II では、この科目を履修したのとして授業が行われるので、必ず履修しておかなければならない。				

【本科目の一般教育目標：GIO (General Instructional Objective)】

現代社会の情報資源を適切に活用するために基本的な情報処理能力を習得する。

【行動目標：SBO (Specific Behavioral Objectives)】

1. パーソナルコンピュータの基本操作ができる。
2. ファイルシステムの概念を理解できる。
3. インターネット資源の利用ができる。
4. 電子メールの有効な利用ができる。
5. ワードプロセッサを利用できる。
6. 表計算ソフトを利用できる。
7. PCを操作して課題を作成できる。
8. 大学生活の中で応用する。

授業計画

教室

回数	授業内容	SBO 番号	担当教員	教授学習法	学習課題 又は 備考
1	ガイダンス				
2	コンピュータの基礎 1) 利用心得, コンピュータとは, ログオン, ログオフ, パスワードの設定	1, 2, 7, 8	萩原威志 寺島和浩	講義 演習	
3	2) キーボードとマウスの操作, ウィンドウの操作, ファイルの概念とその操作方法				
4	3) 文字の入力方法とタイプ練習				
5	4) 日本語入力の方法				
6	ネットワークの利用 1 1) WWW の検索	3, 4 7, 8	萩原威志 寺島和浩	講義 演習	
7	2) 電子メールの送受信				
8	日本語ワードプロセッサ (Word) を用いた文書作成 1) 起動, 終了, 文書編集	5, 7, 8	萩原威志 寺島和浩	講義 演習	
9	2) 表, 図の挿入				
10	3) 課題演習				
11	表計算ソフト (Excel) の基本操作 1) 起動, 終了, データ入力, ファイルの保存	6, 7, 8	萩原威志 寺島和浩	講義 演習	
12	2) 表作成, データ入力, 数式入力				
13	3) 課題演習				
14	合同講義		山崎一生	講義	

その他